

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1225
施設名	アイ保育園
施設所在地	品川区東品川1-36-11
法人名	社会福祉法人愛誠会

## 1. 活動のテーマ

### <テーマ>

地域のアート文化や色・素材との出会いを通して、「どうして?」「どうなるの?」という子どもの問いを起点にした探究的な表現活動に取り組み、主体性や協働性を育むとともに、年長児がクラス全体で一つの目標に向かって試行錯誤しながら制作する。

### <テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

本活動は、「色はどこから来るのか」「混ぜるとどうなるのか」といった素朴な疑問や関心を、探究的な学びへとつなげることをねらいとして設定した。

活動全体を「一本の線」というイメージで捉え、一回一回の制作を完結した体験ではなく、前の気づきが次の問いを生む連続した探究のプロセスとして構成した。

年長児は日頃から制作活動に親しんでいるものの、大きな画面を使い、仲間と表現を重ね合いながら試行錯誤する経験は限られていた。そのため、卒園を控えた時期に、クラス全員で一つの作品を目指し、話し合い、迷い、工夫しながら取り組む探究的な活動として本テーマを位置づけた。

また、地域に根付くアート文化や専門家の関わりを通して、素材や表現の背景に触れ、「知る」「試す」「考える」体験へと広げることを意図した。

## 2. 活動スケジュール

第1回：水彩絵具づくり（色材の仕組みを知る）

第2回：クレヨンづくり（色材の仕組みを知る）

第3回：色彩クイズ、絵画鑑賞、スポット絵づくり

第4回・第5回：大きな絵の共同制作

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

子どもたちが安心して主体的に取り組めるよう、活動用のつなぎを用意した。

素材・道具については、アートの専門家と連携し、本格的でかつ、子どもの発達段階に応じたものを準備した。顔料や糊材を用いた水彩絵具づくり、ロウや油を使ったクレヨンづくりを取り入れ、既製品だけでなく素材の成り立ちから体験できるようにした。制作には筆、刷毛、スポンジローラー、スポイトなど多様な道具を使用し、表現の幅を広げた。共同制作では大型パネルやマスキングテープを用い、安全面に配慮しながら保育者や専門家が補助を行った。

### 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

水彩絵具やクレヨン「使うもの」としてではなく、「どのように生まれるのか」を考え、知るところから活動を始めた。顔料や糊材、ロウなどの素材に触れながら、色ができる仕組みを自分の手で確かめる体験を行った。

その後、色彩クイズや絵画鑑賞を通じて、「なぜこの色に見えるのか」「どうやって表しているのだろう」といった視点をもつ時間を設け、色や表現についての理解を深めた。

後半では、これまでの体験や気づきを生かし、クラス全体で一つの大きな画面に向き合う共同制作を行った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

素材づくりの場面では、専門家の話を聞きながら、「2つの顔料を入れるとどうなるの?」「水の量で色は変わるのかな」といった問いが生まれ、子ども同士で確かめ合う姿が見られた。

制作の中では、色を混ぜて試したり、意図しない変化を面白がったりする様子があり、予想と結果の違いに気づく探究的なやりとりが自然と生まれていた。

共同制作では、「ここは明るくしたい」「線がつながるようにしよう」など、友だちの表現を意識した話し合いや役割の調整が見られ、表現を通じた協働が深まっていった。

また、制作前・制作中・完成後に作品を囲んで振り返ることで、「前は気づかなかった色」「重ねたことで見え方が変わった部分」などが共有され、新たな気づきが次の表現への意欲につながっていた。

保育者は、答えを提示するのではなく、子どものつぶやきや疑問を受け止めながら、「どう思う?」「他にはどんな方法がありそう?」と問いを返し、探究が深まるよう関わった。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

素材づくりから共同制作へと段階的に構成することで、子どもたちは「作る」こと以上に、「考える」「試す」「比べる」姿を多く見せるようになった。

専門家を招き、問いを共有しながら試行錯誤できる環境を整えたことで、子ども同士の対話や表現の重なりが豊かになったと感じている。

大きな作品にクラス全体で向き合う経験は、一人ひとりの表現が尊重されながらも、仲間とともに作り上げる達成感を味わう機会となった。

卒園を控えたこの時期に、仲間と探究を積み重ね、一つの形にたどり着いた経験は、子どもたちの自信や次への学びにつながっていくもの考える。